

ごみが処理されるまで

～空へとつづく「ごみ」のたび～



はさいき い
「ごみ」が破砕機に入ります。

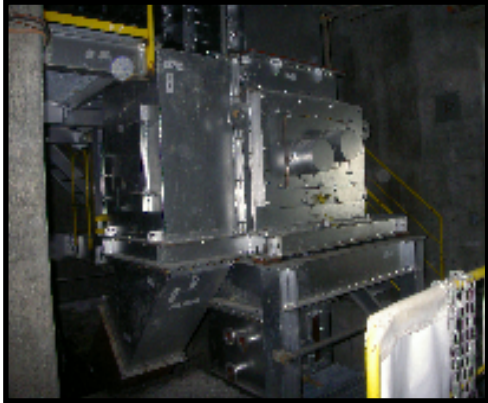
『ごみ投入ホッパー』から供給されたごみが『ごみ破砕機』に入ります。

破砕機では、ごみを細かく切断・分断し、ごみを燃やす準備をします。

「ごみ破砕機」がごみを細かくする事によって、初めてごみを燃やす事が出来るようになります。なので「ごみ破砕機」は施設にとって、非常に重要な機関です。

はさいきき しょり ごみ破砕機による処理

① 破砕機外観



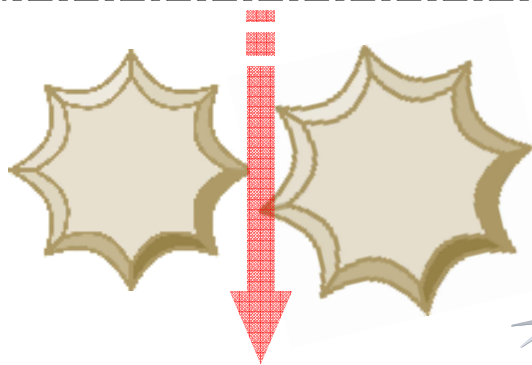
② 破砕機内部



③ 破砕機シャフト



④ 破砕機の刃



いぶつ きんぞく はい はさい
異物や金属が入ると破砕機が壊れてしまいます。

破砕機は、かみ合わせによって、ごみを破砕します。

これは、「はさみ」で物を切る方法に似ています。



ホッパーに投入されたごみが、ガス化炉で流動砂

と接触した時、カーボンと生成ガスが発生しやすい

ように大きいごみを15cm以下に破砕します。

★ 破砕機を上部から見た画像

